

一人ひとりの幸福を守り育てる「いわて県民計画(2019~2028)」

10の政策分野から今回は 教育 をPICK UP!



東大海洋研の先生方の指導のもと、採取したサンプルを仕分け(はま研究会)

県立大槌高等学校は、2024年度入学生から普通科を「地域探求科」へ改編し、地域と協働しながら一人ひとりの強み「大槌」を育て、地域や社会に貢献できる人材の育成を目指しています。その特色は、大槌町

や、国語や数学などの授業時間などを「総合的な探究活動」に取り組んでいます。この授業時間は、大槌町の興味関心をフィールドに、一人ひとりの興味関心をテーマにして、たとえば「東京大学大気海洋研究所」と共に海に

DATA 県立大槌高等学校
大槌町大槌第15地割71-1
0193-42-3025

県立大槌高等学校
志田敬校長▼
魅力化推進員兼
魅力化アドバイザー
小野寺綾さん▼



県立高校の魅力を「note」で発信

県教育委員会は、メディアプラットフォーム「note(ノート)」を活用して、県立高校が実施する探究学習や地域連携の取り組み、生徒の学びの様子などの情報を発信しています。全県立高校と県教育委員会が一体となって、多くの皆さんに高校の魅力を届けています。

note



いわて 県民計画 PICK UP!

県は、魅力ある学校づくりを推進するため「いわて高校魅力化推進事業」を全県立高校で展開しています。

今回は、生徒の主体的な探究活動を軸に、地域をはじめ多様な分野との連携・協働を通じて、特色ある高校づくりに取り組んでいる県立大槌高等学校を紹介します。

いわて県民計画について
もっと詳しく知りたい方は
こちらもチェック！



高校魅力化の新たな取り組み

県教育委員会は、生徒の探究的な学びを伴走支援するため、2025年度から新たに「魅力化アドバイザー」を配置し、探究的な学びの助言支援などを実行しています。また、探究的な学びの手法などについて情報交換を行う「探究共創交流会」を開催し、学びの活性化を図っています。



2025年8月1日に開催した「探究共創交流会」の様子